

# 地域経済概況

No.625

2023年 5月



## 国内経済の動き

### ●月例経済報告（内閣府）【5月】

《景気判断》 「緩やかに回復している」

- ☞ 総括判断は、前回判断から10か月ぶりに上方修正した
- ☞ 個別指標においては「個人消費」、「輸出」および「生産」について前回判断から上方修正した

(個人消費)	持ち直している	(設備投資)	持ち直している
(輸出)	底堅い動きとなっている	(生産)	持ち直しの兆しがみられる
(企業収益)	総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている	(企業の業況判断)	持ち直しの動きがみられる
(雇用情勢)	持ち直している	(消費者物価)	上昇している

…前月から上方修正 …前月判断を据置 …前月から下方修正

### ●生産動向

■鉱工業指数（確報）【3月】  
平成27年（2015年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	95.9 (95.7)	+1.1	106.5 (106.3)	▲0.6
出荷 (速報値)	93.4 (93.1)	+0.8	106.1 (105.8)	+0.1
在庫 (速報値)	103.7 (104.1)	+0.2	100.5 (100.8)	+2.9

(経済産業省調べ)

- ☞ 3月の季節調整済指数（前月比）は生産、出荷および在庫のすべてにおいて上昇
- ☞ 生産で上昇した業種…自動車工業、生産用機械工業、化学工業（除無機・有機化学工業）ほか6業種
- ☞ 生産で低下した業種…電子部品・デバイス工業、汎用・業務用機械工業、食料品・たばこ工業ほか4業種
- ☞ 製造工業生産予測調査によると、4月は前月比+4.1%の上昇、5月は同▲2.0%の低下見込み

### ●新車販売台数

■車種別販売台数【4月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車等販売台数	219,987	+23.1
軽自動車販売台数	129,605	+7.2

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

☞ 4月の普通自動車等販売台数は前年同月比4か月連続の増加、軽自動車販売台数は8か月連続の増加

☞ 国内新車販売台数（軽自動車を含む）は349,583台（前年同月比+16.7%）で8か月連続の増加

### ●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

■全国百貨店【4月】

(店舗調整後)

		売上高 (億円)	前年同月比 (%)
売上高総額		4,088	+8.6
主要5品目	衣料品	1,206	+10.2
	身のまわり品	680	+16.5
	雑貨	833	+9.9
	家庭用品	147	▲0.8
	食料品	971	+2.2

(日本百貨店協会調べ)

- ☞ 4月の売上高は14か月連続の増加
- ☞ 顧客別では、国内市場は前年同月比+5.0%で14か月連続の増加、インバウンドは同+209.9%で13か月連続の増加
- ☞ 地区別では、10都市が前年同月比+11.2%で19か月連続の増加、10都市以外が同+1.2%で4か月連続の増加

■スーパー等大型チェーン【4月】

(店舗調整後)

		販売額 (億円)	前年同月比 (%)
総販売額		11,062	+3.4
部門別	食料品	7,616	+4.9
	衣料品	662	+0.2
	住関連品	2,091	+1.2
	サービス	22	▲4.3
	その他	669	▲2.3

(日本チェーンストア協会調べ)

- ☞ 総販売額は前年同月比で2か月連続の増加
- ☞ 食料品は節約志向の高まりから買い控え傾向が強くなる中、店頭価格の上昇もあり良かった
- ☞ 衣料品は入学・ビジネス関連がまずまずの動き、住関連も行楽需要などもあり動きが良かった

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【3月】

		戸数(戸)	前年同月比(%)
利用関係別	総戸数	73,693	▲3.2
	持家	17,484	▲13.6
	貸家	32,585	+0.9
	分譲住宅	23,053	▲0.4
	マンション	11,378	+7.2
	一戸建	11,583	▲6.9

(国土交通省調べ)

☞ 3月の総戸数は2か月連続の減少

☞ 前年同月比は持家は16か月連続の減少、貸家は25か月連続の増加、分譲住宅は2か月連続の減少、分譲住宅のうち、マンションは4か月連続の増加、一戸建住宅は5か月連続の減少

☞ 地域別総戸数は首都圏(前年同月比+0.7%)、中部圏(同▲14.0%)、近畿圏(同+2.0%)、その他地域(同▲5.9%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【4月】

		受注額(百万円)	前年同月比(%)
利用関係別	受注総額	132,673	▲14.4
	内需	41,926	▲21.2
	外需	90,747	▲10.9

(日本工作機械工業会調べ)

☞ 4月の受注総額は4か月連続で前年同月を下回ったものの、好不況の目安とされる1,000億円を27か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【4月】

		倒産件数	負債総額
		610件	2,038億円
前月比		▲24.5%	+38.2%
前年同月比		+25.5%	+150.8%

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 倒産件数は13か月連続で前年同月を上回った

☞ 負債総額は2か月ぶりに前年同月を上回った

☞ 新型コロナウイルス関連倒産は235件発生

## 県内経済の動き

●県内の経済情勢(日本銀行松本支店)【5月】

《総括判断》➡「一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている」

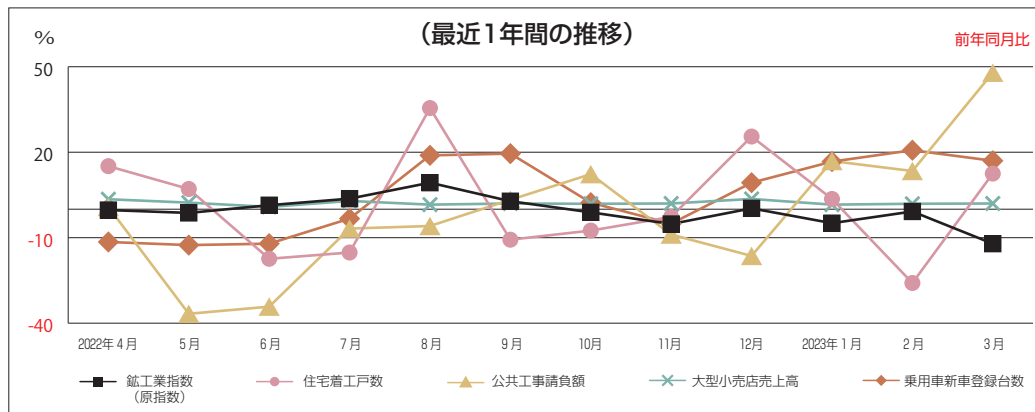
☞ 「総括判断」は昨年5月に発表した概況判断を12か月連続で据え置いた

☞ 個別の判断は生産について「弱めの動きとなっている」として下方修正、個人消費について「緩やかに増加している」として上方修正した

(設備投資) ➡ 増加している	(個人消費) 🔴 新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、緩やかに増加している
(住宅投資) ➡ 横ばい圏内の動きとなっている	(公共投資) ➡ 横ばい圏内の動きとなっている
(生産) 🔵 弱めの動きとなっている	(雇用・所得) ➡ 持ち直している

🔴…前回から上方修正 ➡…前回判断を据置 🔵…前回から下方修正

## 県内主要経済統計の推移



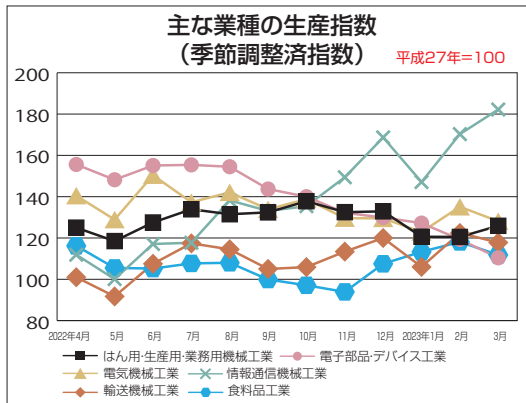
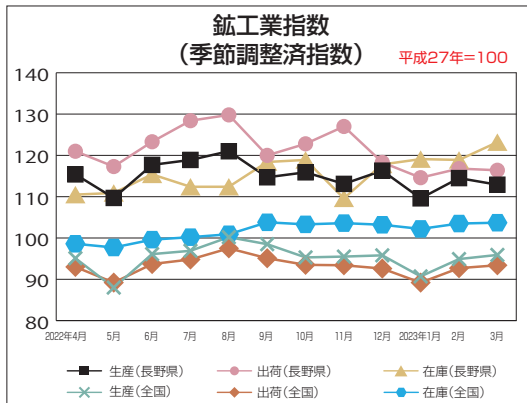
# 県内の産業動向

## 製造業

■鉱工業指数（速報）【3月】 平成27年（2015年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (前月確報)	112.9 (114.5)	▲1.4 (+4.5)	125.4 (113.8)	▲12.1 (▲0.8)
出荷 (前月確報)	116.4 (116.8)	▲0.3 (+1.8)	131.2 (115.9)	▲9.8 (+0.2)
在庫 (前月確報)	123.2 (118.8)	+3.7 (▲0.3)	117.2 (121.3)	+5.6 (+0.5)

- 前月比（季節調整済指数）で、生産および出荷は2か月ぶりの低下、在庫は2か月ぶりの上昇
- 前年同月比（原指数）で、生産は3か月連続の低下、出荷は2か月ぶりの低下、在庫は18か月連続の上昇
- 生産で上昇した業種…汎用・生産用・業務用機械工業、情報通信機械工業、化学工業ほか2業種
- 生産で低下した業種…電子部品・デバイス工業、木材・木製品工業、食料品工業ほか9業種



(経済産業省、長野県企画振興部調べ)

## 建設業

■新設住宅着工戸数【3月】

		戸数 (戸)	前年同月比 (%)
住宅着工戸数		695	+12.5
利用関係別	持家	407	+7.1
	貸家	156	+28.9
	給与	2	+100.0
	分譲	130	+12.1

(長野県建設部調べ)

- 住宅着工戸数全体は2か月ぶりに前年同月を上回った
- 利用関係別では、持家は3か月ぶりの増加、貸家は2か月連続の増加、分譲は2か月ぶりの増加

■公共工事動向【4月】

	件数 (件)	請負金額 (百万円)
国	11	738
独立行政法人	16	12,426
県	193	17,982
市町村	99	7,457
地方公社	1	18
その他	5	132
合計	325	38,756

(東日本建設業保証調べ)

- 4月の請負件数は前年同月比+2件、請負金額は同+47.9%であった。また、請負金額の発注者別では独立行政法人（前年同月比+354.3%）、県（同+45.0%）で前年同月を上回り、国（同▲60.1%）、地方公社（同▲51.3%）、市町村（同▲5.3%）、その他（同▲89.7%）で前年同月を下回った

## 小売業

■自動車登録台数【4月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車登録台数	3,936	+17.0
軽自動車登録台数	3,630	+8.3
全体（二輪車を除く）	7,738	+11.7
自動車保有台数	1,886,822	+0.4

(北陸信越運輸局長野運輸支局調べ)

- 登録車は4か月連続で増加、軽自動車は11か月連続で増加、全体では8か月連続で増加
- 2023年4月末時点における自動車保有台数内訳…登録車947,931台（前年同月比▲0.8%）、軽自動車901,510台（同+1.5%）、二輪車37,381台（同+6.4%）

■大型小売店売上高【3月】

		売上高 (百万円)	前年同月比 (%)
総売上高		21,817	+2.0
内訳	食料品	18,339	+2.5
	衣料品	1,323	+3.2
	雑貨・その他	2,155	▲2.4

(長野経済研究所調べ)

- 総売上高は18か月連続で前年同月を上回った
- 食料品は、総菜や飲料などが堅調だったほか販売価格の上昇などもありプラスとなった
- 衣料品は、来店客数が増加したほか春物が順調でプラスとなった
- 雑貨・その他は、日用品などが振るわなかった

## 県内の雇用情勢

### ■月間有効求人倍率【3月】 (季節調整値)

	月間有効求人倍率	前月比
長野県	1.51倍	±0.00pt
全国	1.32倍	▲0.02pt

(厚生労働省・長野労働局調べ)

### ■新規求人数【3月】 (実数値)

	新規求人数	前年同月比
全数	16,946人	▲4.6%

(長野労働局調べ)

### ■新規求職者数【3月】 (実数値)

	新規求職者	前年同月比
全数	7,766人	▲2.1%

(長野労働局調べ)

☞ 全国平均を0.19ポイント上回り、全国順位は9位と堅調な推移が続く

☞ 有効求人数(季節調整値)は49,233人で前月比+0.1%の増加、有効求職者数は32,643人で同+0.01%の増加

☞ 総括判断「雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

☞ 前年同月比で増加した業種…建設業・不動産・物品賃貸業、宿泊業・飲食サービス業など

☞ 前年同月比で減少した業種…製造業、情報通信業、運輸業・郵便業など

☞ 全数のうち常用は4,725人(前年同月比▲1.4%)、パートは2,979人(同▲3.0%)

## 県内の倒産状況

### ■企業倒産整理状況【4月】

	倒産件数	負債総額
	4件	1,369百万円
前月比	▲50.0%	+54.5%
前年同月比	▲60.0%	▲50.8%

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 地域別では北信、東信、中信、南信がそれぞれ1件

☞ 業種別では印刷・関連連業が2件、金融・保険業、医療・福祉事業がそれぞれ1件

☞ 新型コロナウイルス関連倒産は3件

## 編集後記 地域とともに歩む銀行 ～地域に向けた長野銀行の取組み～

### ● 長野銀行は株式会社八十二銀行と経営統合いたしました

# 競争から共創へ

6月1日 八十二銀行と長野銀行は経営統合いたしました



長野銀行は、同じ長野県に本店を置き、同じ使命を持つ八十二銀行と6月1日に経営統合いたしました。

両行は、2025年度を目途に合併することを基本方針として、協議・検討をすすめてまいります。合併に先立ち、これからは両行がこれまで培ってきたノウハウを融合することに加え、それぞれが保有するネットワークや情報を共有することで、今まで以上のサービス提供および利便性向上に努めてまいります。